

20年度決算の特徴

(1) 帰属収入は、前年比15百万円下回った。

主要因は学納金（金額にして大学28百万減・高校7百万減）と補助金（大学7百万・高校16百万）の減少。

又、反面退職者の増加による退職財団からの交付金45百万増加。

(2) 消費支出は、経費の減少により前年比55百万下回った。

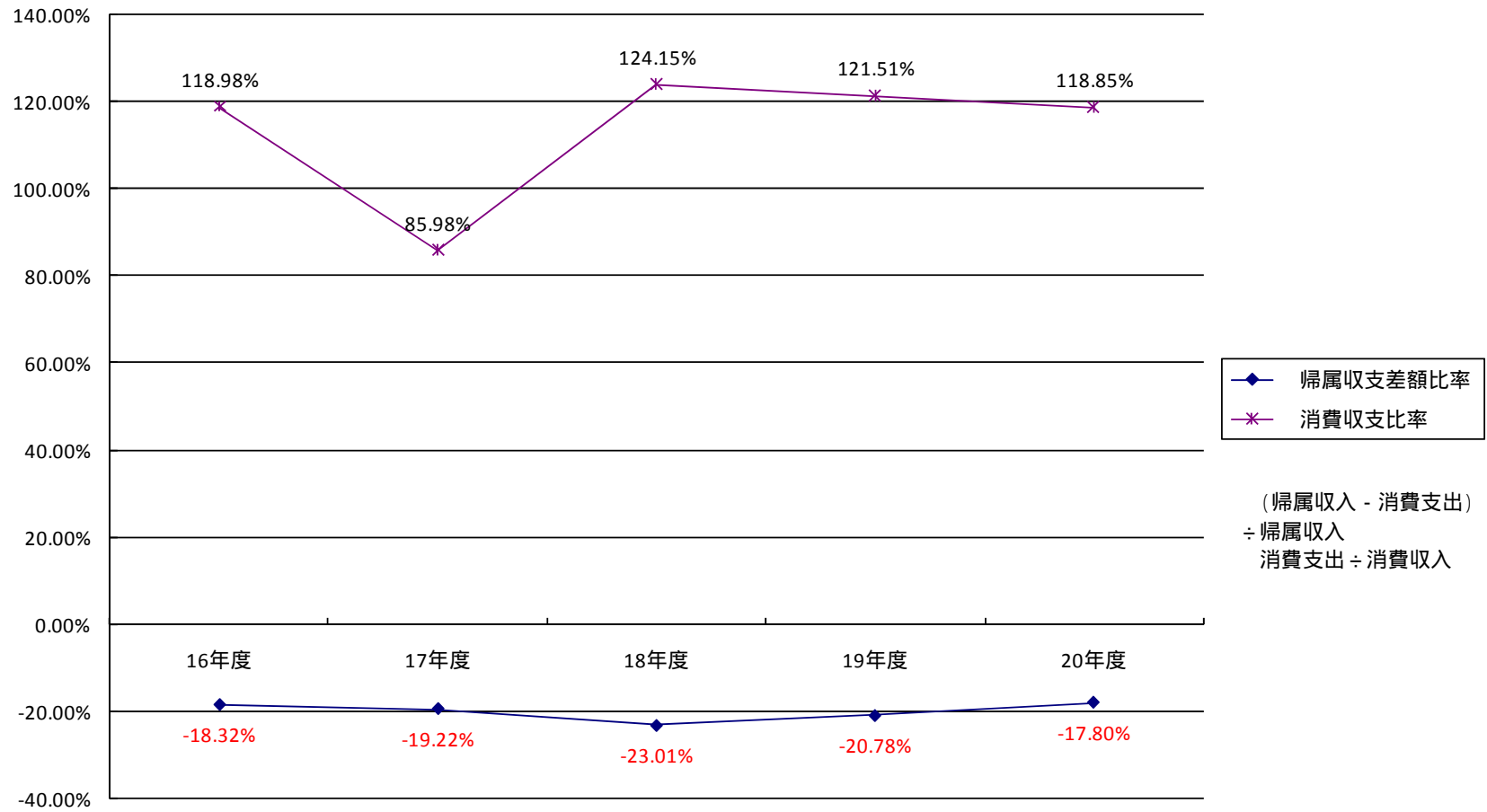
たとえば、人件費は退職金を除くと32百万の減少であり、又一般経費については短大部門の和解金28百万・広告費12百万等の減少がある。

(3) 消費収支差額では経費の削減により実質40百万改善されている。

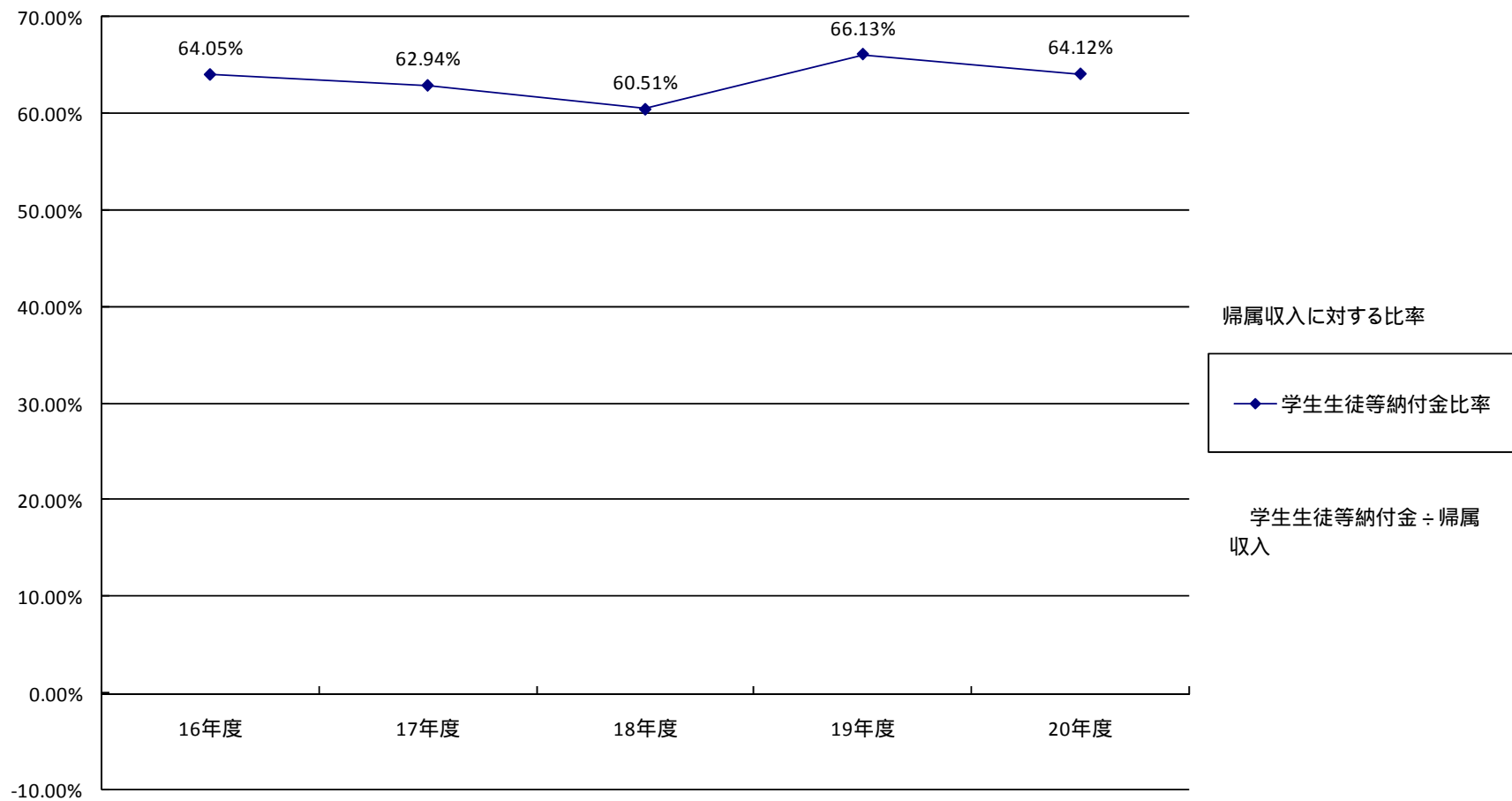
(4) 次年度繰越支払資金は前年比16百万円の減少。

ただ高校で50百万の引当金を取崩ししており実質は66百万の減少。

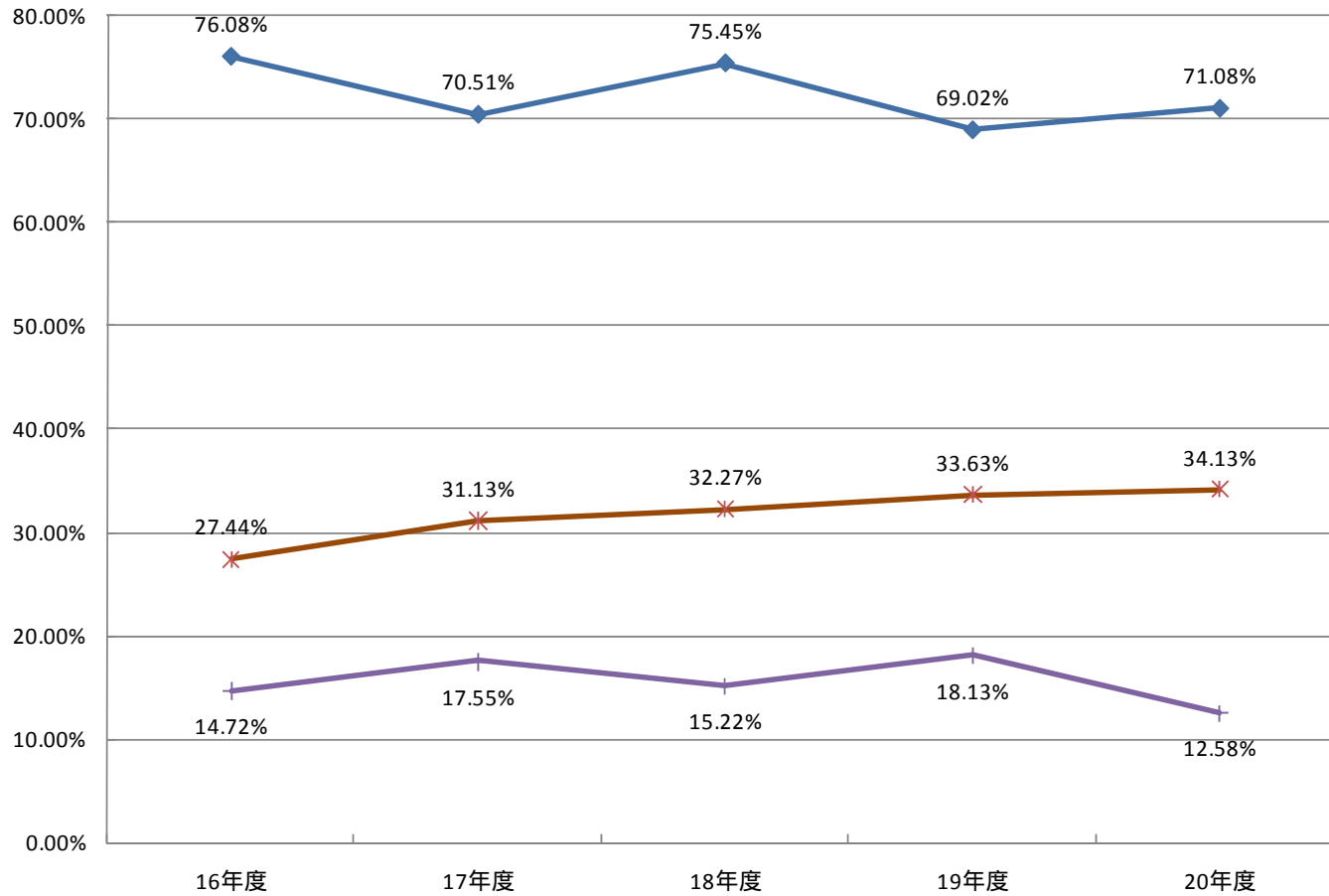
財務比率 -その-



財務比率 -その-



財務比率 -その-



帰属収入に対する比率

- ◆ 人件費比率
- * 教育研究経費比率
- + 管理経費比率

人件費 ÷ 帰属収入
教育研究経費 ÷ 帰属収入
管理経費 ÷ 帰属収入